

薬用作物産地支援 栽培技術研修 群馬会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物（特に国内生産重点品目）の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 高崎白銀ビル貸会議室（群馬県高崎市白銀町9） 第一会議室

実施時期： 11月8日(水)～9日(木)

| | 時間 | 研修科目 | 内容 | 講師 | 所属 |
|--------------|-----------------------|--|---|---------------|--|
| 11月8日 (水) | 13:30-14:00 (30分) | 13:20現地集合 場所：上毛高原駅（JR東日本） 移動(バス利用) | 研修の概要説明 | 事務局 | |
| | 14:00-16:00 (120分) | 〔講義・現地研修〕 薬用作物の栽培技術等について | 群馬県「利根沼田農業協同組合」のトウキ圃場における現地研修を通じて、薬用作物の特徴、栽培上の注意点、収穫、品質評価等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。 | 南 輝雄 坂西 和世 | 利根沼田農業協同組合 薬草部会部長 営農企画課 |
| | 16:00-17:00 (50分) | 移動(バス利用) →高崎市内研修会場付近 | 初日解散 | 事務局 | |
| 11月9日 (木) | 9:00-9:50 (50分) | 〔講義〕 薬用作物の国内生産拡大の取り組み | 製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。 | 小柳 裕和 | 日本漢方生薬製剤協会生薬国内生産検討班長 |
| | 10:00-11:20 (80分) | 〔講義〕 薬用作物の栽培技術にあたって | 地域の生産者、実需者から要望の高い栽培技術について解説する（シャクヤク、トウキ等）。 | 柴田 敏郎 | 前・国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター 客員研究員 |
| | 11:30-12:10 (40分) | 〔講義〕 富山県における薬用作物の栽培支援体制（シャクヤク・トウキ） | 富山県における薬用作物（シャクヤク、トウキ等）の栽培振興へ向けた取り組みについて紹介する。 | 田村 隆幸 | 富山県薬事総合研究開発センター 薬用植物指導センター主任研究員 |
| | 12:10-13:10 | 昼 食 | | | |
| | 13:10-14:40 (90分) | 〔情報交換会〕 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応 | 事前提出資料の報告をもとに、各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。 | 講師同席 | |
| | 14:40-15:00 | 閉会 | 研修に対する評価等についてアンケート調査を実施 | 事務局 | |